



平成31年1月25日
海上保安庁

日印海上保安機関長官級会合の開催について（結果概要）

～両機関による連携・協力強化に合意～

海上保安庁は、1月22日（火）、東京において「第18回日印海上保安機関長官級会合」を開催しました。岩並秀一 海上保安庁長官とラジェンドラ・シン インド沿岸警備隊長官は、両機関による連携・協力を強化していくことに合意しました。

1. 開催概要

日時： 平成31年1月22日（火） 午前
場所： 海上保安庁本庁（東京・霞が関）
参加者： 日本側： 岩並 秀一 海上保安庁長官 ほか
インド側： ラジェンドラ・シン 沿岸警備隊長官 ほか

2. 結果概要

- これまでの両機関の連携・協力状況を確認するとともに、今後は両機関の更なる関係発展のため、長官級を含めた幅広いレベルで両機関間の人的交流を推進することを確認しました。
- 台風や豪雨等の自然災害への対応について、両国の共通の課題であるところ、今後実務者を通じたベストプラクティスの共有や情報交換を行うことで一致しました。
- 世界海上保安機関長官級会合やアジア海上保安機関長官級会合（HACGAM）等の多国間の枠組みにおける連携・協力強化への更なる取り組みについて意見交換を行いました。
- 次回の長官級会合及び連携訓練は来年インドで開催することで一致しました。

今後とも海上保安庁では、「自由で開かれたインド太平洋」の推進を念頭に、このような取組を通じ、インド沿岸警備隊との信頼関係の更なる深化を図るとともに、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に貢献してまいります。



日印両長官



長官級会合の状況



出席者集合写真